

安全データシート

1. 化学品および会社情報

製品名	除菌クリーナー
会社名	(株)エクシール
住所	岐阜県美濃市大矢田277-1
担当部署	品質保証課
電話番号	0575-33-0872
緊急連絡先	同上
FAX番号	0575-35-1590
整理番号	100003
推奨用途・使用上の制限	リフトマット/ステップマット/粘着ローラー専用洗剤としての用途

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理的・化学的危険性

爆発物	分類できない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	分類できない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類できない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	区分に該当しない
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性物質	分類できない
純正爆発物	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(気体)	区分に該当しない
急性毒性(蒸気)	分類できない
急性毒性(粉じんまたはミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分2
生殖毒性/授乳影響	分類できない
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分1(中枢神経系)
	区分1(全身毒性)
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分1(血液系)
	区分2(脾臓)
	区分2(呼吸器)
	区分2(肝臓)

誤えん有害性
 環境に対する有害性
 水生環境有害性 短期(急性)
 水生環境有害性 長期(慢性)
 オゾン層への有害性

分類できない
 区分3
 区分3
 分類できない

GHSラベル要素
 絵表示又はシンボル



注意喚起語
 危険有害性情報

危険
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 重篤な目の損傷
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
 中枢神経系、全身毒性の障害
 長期にわたる又は反復暴露による血液系の障害
 長期にわたる又は反復暴露による脾臓、呼吸器、肝臓の障害のおそれ
 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。
 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 その後も洗浄を続けること。
 暴露又は暴露の懸念がある場合、医師に連絡すること。
 医師の診察/手当てを受けること。直ちに医師に連絡すること。
 特別な処置が必要な場合、このラベルを見せよ。

【保管】

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 高温、多湿の場所、低温の場所、直射日光のあたる場所には保管しないでください。

【廃棄】

内容物/容器を関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

製品区分

混合物

成分名/化学名	含有率
水	-
イソプロピルアルコール	30%未満
ポリオキシアルキレンアルキルエーテル	10%未満
アルカリ剤	1%未満
防腐剤	1%未満
pH調整剤	1%未満

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

多量の水で洗うこと。

眼に入った場合

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯をすること。

水で数分間注意深く洗うこと。

飲み込んだ場合

次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 その後も洗浄を続けること。

無理に吐かせない。

コップ1, 2杯の水か牛乳を飲み、直ちに医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末/泡消火器/乾燥砂
使ってはならない消火剤	データなし
特有の消火方法	火元への燃焼を断ち、消火剤を使用して消火する。 延焼の恐れのないように水スプレーで周囲のタンク、建物等の冷却をする。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。 消化活動は適切な保護具(眼鏡、手袋、保護衣、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、ゴーグル、保護マスク、保護衣等を着用すること。
環境に対する注意事項	環境への流出を避けること。 安全な用具を使用して、密閉できる容器に回収する。
封じ込め、浄化の方法及び機材	危険でなければ漏れを止める。 少量の場合、ウエスや雑巾などでよく拭き取り適切な廃棄容器に回収する。 大量の場合、盛土等で囲って流出を防止する。 粉じん、蒸気、ヒューム、スプレーを吸入しないこと。 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意	熱、火花、高温物のような着火源から遠ざけること。 汚染された衣類を再利用する場合には洗濯すること。
保管	
技術的対策	取り扱うために必要な照明及び換気設備を設けること。
保管条件	直射日光を避け、高温・高湿を避けること。 破損や漏れの無い容器で密閉して保管すること。

8. 暴露防止措置及び保護措置

管理濃度	知見なし
許容濃度	知見なし
保護具	
呼吸用保護具	必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	手に接触する恐れがある場合、保護手袋を着用すること。
眼の保護具	眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用すること。
皮膚の保護具	必要に応じて保護衣、顔面用の保護エプロンを着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観、形状、色など	無色透明液体
pH	9~10
融点・凝固点	データなし
引火点	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性 通常の取り扱い条件下では安定である。
危険有毒反応可能性 通常の取り扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件 直射日光を避け、冷暗所に保管する。混触危険物との接触。

11. 有害性情報

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 濃度限界以上のため区分1に該当。
皮膚感作性 濃度限界以上のため区分1に該当。
生殖毒性 濃度限界以上のため区分2に該当。
特定標的臓器毒性(単回暴露) 濃度限界以上のため区分1(中枢神経系)に該当。
濃度限界以上のため区分1(全身毒性)に該当。
特定標的臓器毒性(反復暴露) 濃度限界以上のため区分1(血液系)に該当。
濃度限界以上のため区分2(脾臓)に該当。
濃度限界以上のため区分2(呼吸器)に該当。
濃度限界以上のため区分2(肝臓)に該当。

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性 短期(急性) 加算法より濃度限界以上のため区分3に該当。
水生環境有害性 長期(慢性) 加算法より濃度限界以上のため区分3に該当。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 廃棄においては、関連法規制並びに地方自治体の基準に従って処理すること。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規則 非該当
国内規則
陸上規制情報 道路法に従う
海上規制情報 船舶安全法に従う
航空規制情報 航空法に従う
特別の安全対策 重量物を上積みしない。
輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れがないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法 特化則に非該当
有機則 第2有機溶剤等 イソプロピルアルコール
名称表示危険/有害物 イソプロピルアルコール
(別表第9の494)
名称通知危険/有害物 イソプロピルアルコール
(別表第9の494)
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)
第1種指定化学物質(ポリオキシアルキレンアルキルエーテル)

毒物及び劇物取締法 非該当
消防法 非該当

※この物質に関する貴国又は地方の規制に順守してください。

16. その他

参考文献

製品評価技術基盤機構 (NITE)
JIS Z 7253:2019

その他

本SDSは、入手可能な製品情報や有害情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性があります。記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。取り扱いには十分注意をしてください。本書には通常の取扱いを対象として記載したものです。特殊な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全策を実施の上、お取扱いをお願いします。本SDSの記載内容につきましては、新しい知見によって改訂することがあります。